

会員増強のための活性化会議 グループワーク資料

(配布資料①)

地域薬剤師会名：小川薬剤師会

地域薬剤師会代表者名：栄田 博一

① 数値目標

- 現会員数：A 会員 13名 B 会員 4名
 - 目標会員数：A 会員（+9.41%）：1名 B 会員（+11%）：1名
-

② 具体策（3項目）

■施策①（すぐできること）

内容：

会員から、会員数を増やすために何をすればよいかヒアリング。入会する時に何を考え、何に迷って入会したかを聞き取ることで、未入会の薬局にどうアプローチすればよいか、その糸口を探し出す。

開始時期：6月

■施策②（少し頑張ればできること）

内容：

小川薬剤師会に未入会の薬局は、複数店舗を経営している会社なので、直接経営者と面談し、入会について何がハードルになっているかヒアリングする。

開始時期：7月

■施策③（新しい挑戦）

内容：

会員のニーズの的確な把握、また、会の理念についても時代に合わせて変革できる柔軟性をもつことで、経営者目線からも対価に相応のメリットがある薬剤師会にしていく。地域の多くの薬剤師が、地域のために活動しやすい環境を薬剤師会主導で構築していくことで、会の価値観を高めていく。

開始時期：8月

③ 想定される課題（任意）

非会員薬局の開設者のニーズを受け入れられるか
費用対効果を示せるか

④ 埼玉県薬剤師会への支援要望（任意）

小川町のターゲット層は、複数店舗を展開する会社社長です。これまで入会案内をしたとき、断れた主な理由は、入会金、年会費といった金銭面でした。おそらくそれは今も変わらないと思います。もし金銭面が入会のネックになっているとしたら、地域薬剤師会も努力しますが、県薬も数値目標をかかげさせるのであれば、罰則のないノルマだとしても、その達成率に応じて例えば新会員には会費をいくらか免除していただくキャンペーン等、ご支援を検討していただきたいと思います。